

貧酸素水塊が見られます。

# 東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター  
2011/06/29

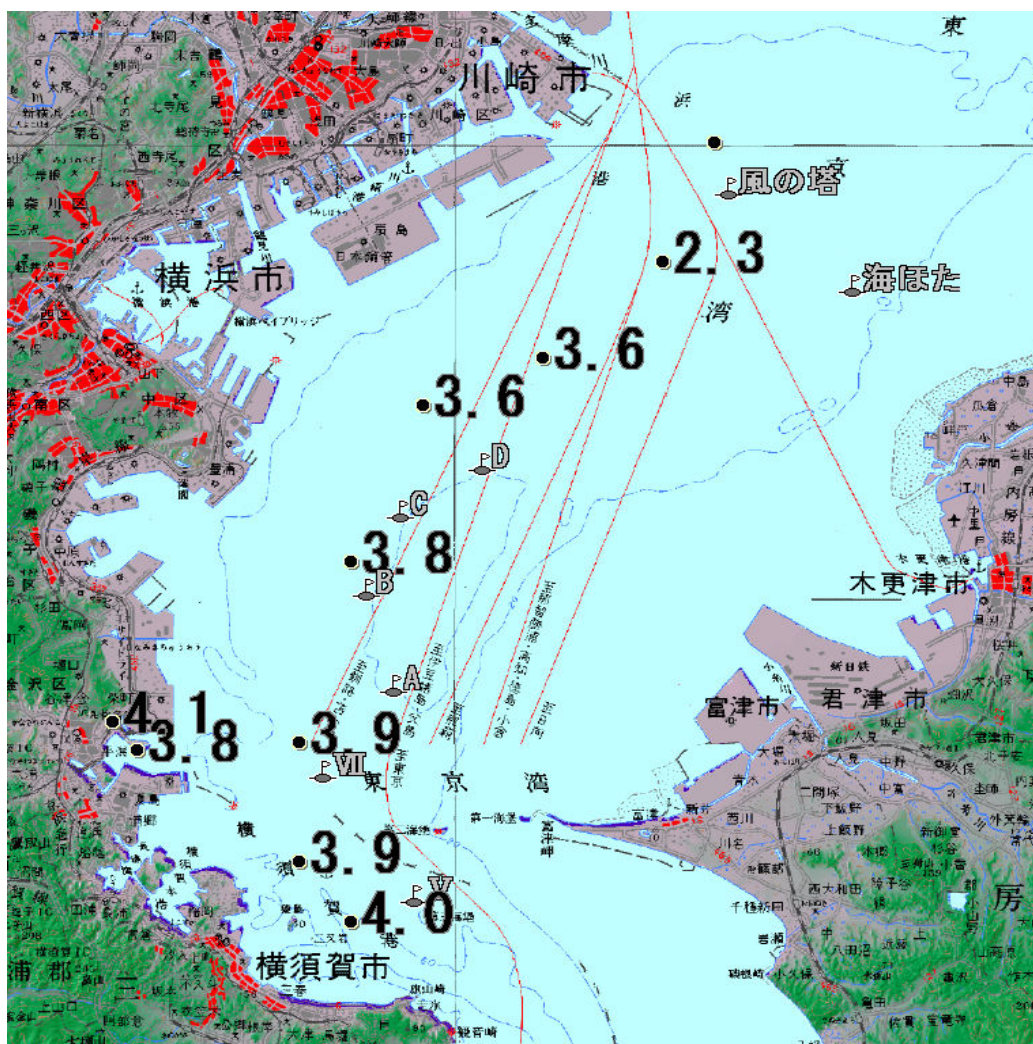
神奈川県あなご漁業者協議会が横浜市漁協柴支所の  
平政丸により東京湾調査を実施しました。

○水温は、表層で22~24℃台で北の地点ほど高くなっています。底層では15~18℃台です。

○塩分は、表層では27~30台で北の地点ほど低くなっています。底層では33~34台です。風の塔の南まで、外洋からの高塩分水の波及が見られます。

○風の塔の南に**貧酸素水塊 (≦2.5ml/l)**が見られます。

○八景島脇のあなご活け場や柴漁港内では酸素量が高めです。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター  
資源環境部  
電話 046(882)2313

上下の塩分差があります。  
漁獲物の取り扱いにご注意ください。